

会計検査院での経験



会計検査院第3局国土交通検査第2課
調査官

原田 基紀 Harada Motoki

平成14年4月 総務省採用
関東管区行政評価局
平成19年4月 神奈川行政評価事務所行政相談課
平成22年4月 東京行政評価事務所
年金記録確認東京地方第三者委員会
事務室
平成23年4月 行政評価局財務・経済産業等担当室
平成24年4月 現職

問題を究明し、改善につなげる仕事

私は総務省で採用され、昨年4月から会計検査院に出向しており、現在は主に国土交通省航空局が所掌する事業を対象とした検査業務に従事しています。

官庁訪問をしている皆さんなら御存知の方も多いと思いますが、会計検査院は内閣から独立した立場で国の会計経理を検査する機関です。会計経理の検査といっても、金銭の出納など狭い範囲に限定されるものではなく、税金が投入され実施された事業についても検査の対象としています。また、違法不当な事態を指摘するのみではなく、問題の発生原因を究明し、改善の処置を要求することもあります。

私が総務省で以前従事していた行政評価局の調査業務と会計検査院の検査業務では、行政機関等に対する現地調査（実地検査）などにおいて問題点を把握・分析するための観点や手法に共通するところがあるため、総務省での経験が現在の会計検査院での検査業務にも役立っています。

地道な作業も貴重な経験に

会計検査院では、特別会計財務書類の検査にも携わる機会がありました。帳簿などの根拠資料と突合したり、計数の整合を確認したりといった地道な作業が中心の検査でしたが、計上金額の誤りが明らかとなり財務書類の訂正につながった点にやりがいを感じました。

総務省では携わったことのない業務だったので、業務の幅を広げる上で良い経験になりました。特に自分が財務書類を作成する立場になった場合には今回の経験が役立ちます。

総務省で働くことの魅力

総務省の魅力。それは幅広い業務内容ではないでしょうか。

私の場合、総務省に採用されてから10年間で、行政評価局調査、行政相談、年金記録問題への対応などの業務を経験しました。今回の出向の機会も含め、様々な業務を経験する機会をいただきましたが、今挙げた業務は、総務省職員が経験できる業務の中でもほんの一握りです。

好奇心が旺盛で、常に新しい業務に挑戦したいと考える方には総務省がおすすめです。